

# 当院におけるオンラインHDFによる 有用性について

飯尾皮膚科泌尿器科 透析室

向井 恵

河野 秀之

田所 亮二

飯尾 昭三

# はじめに

2012年4月の診療報酬改訂以降、血液透析患者に占めるHDF患者の割合は、2012年末の7.5%から2014年末の14.5%と2倍程度増加している。

その背景には、オンラインHDF患者（以下OHDFと示す）が年々増加していることがあり、2012年末の14069人から2014年末には36090人と2.5倍に増加している。

# 目的

H27年6月よりOHDFを施行開始して1年が経過した。

HDの時と比べ、OHDFは患者の栄養状態や貧血改善に効果をもたらしているのかどうか比較検討する。

# 対象

対象患者	43名
平均年齢	68.8歳
平均透析歴	9年6ヶ月
男:女	29:14

# 方法

## 【OHDF施行条件】

平均血流量 217.9ml/min

総透析液流量 500ml/min

平均希釈量 132.5ml/min

## 【使用ヘモダイアフィルター】

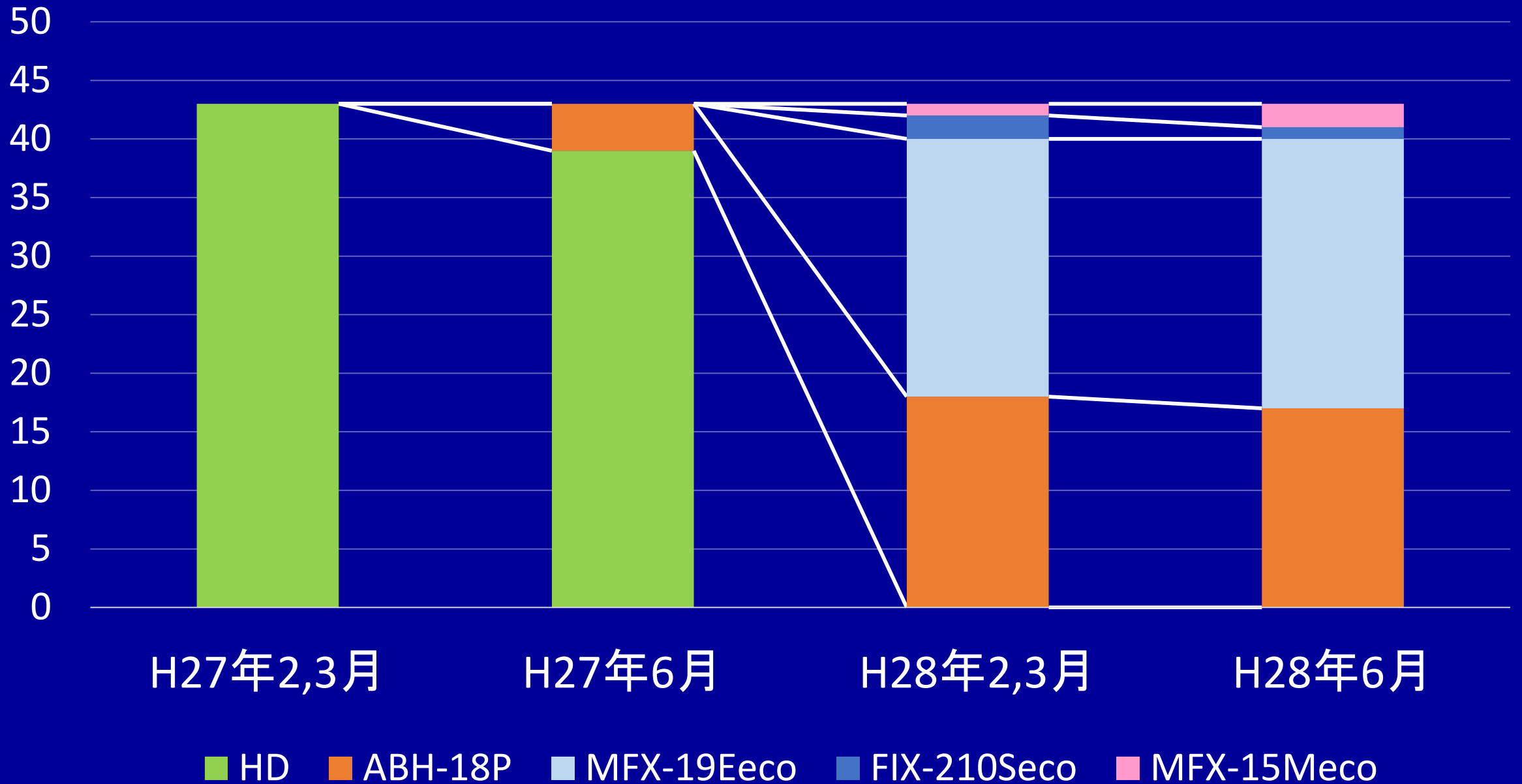
▪ ABH-18P

▪ MFX-19Eeco

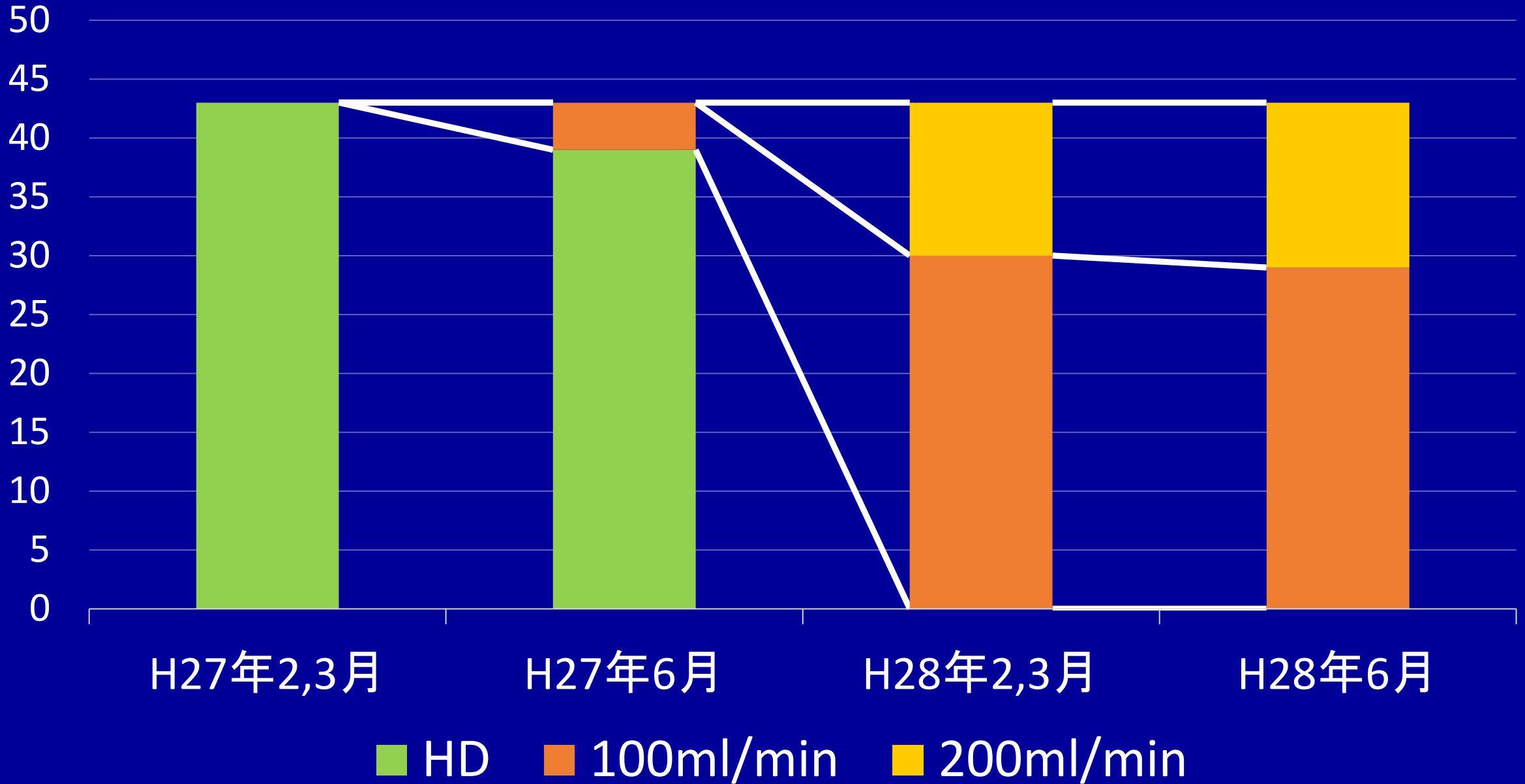
▪ MFX-15Meco

▪ FIX-210Seco

# ヘモダイアフィルター推移



# 希釈量推移



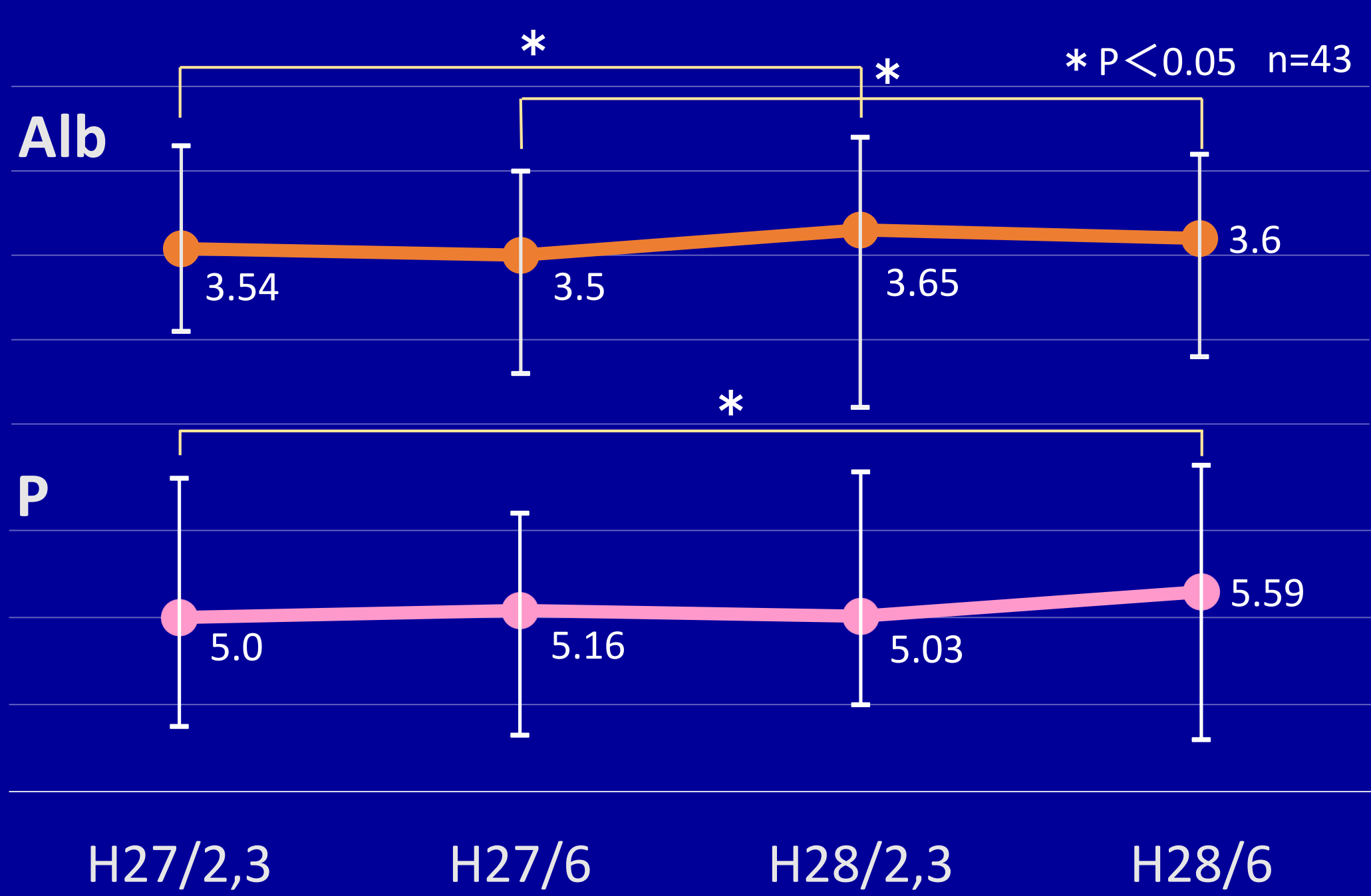
# 検討期間と項目

- HD期間のH27年2,3月の平均
- HD期間のH27年6月
- OHDF期間のH28年2,3月の平均
- OHDF期間のH28年6月

検討項目はAlb、P、Hb、ESA使用量とする。



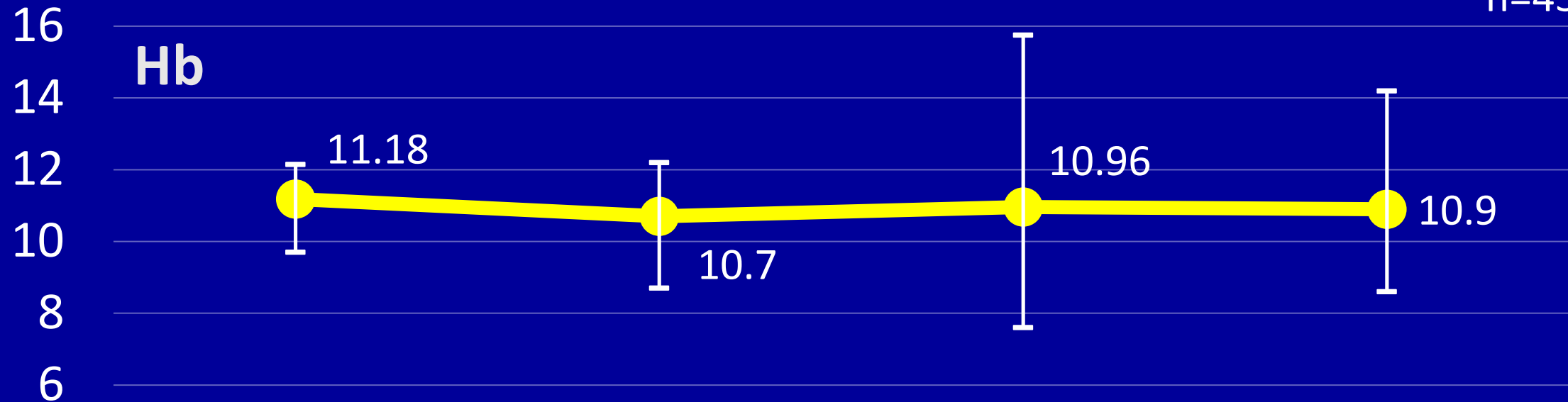
(g/dL)



(g/dL)

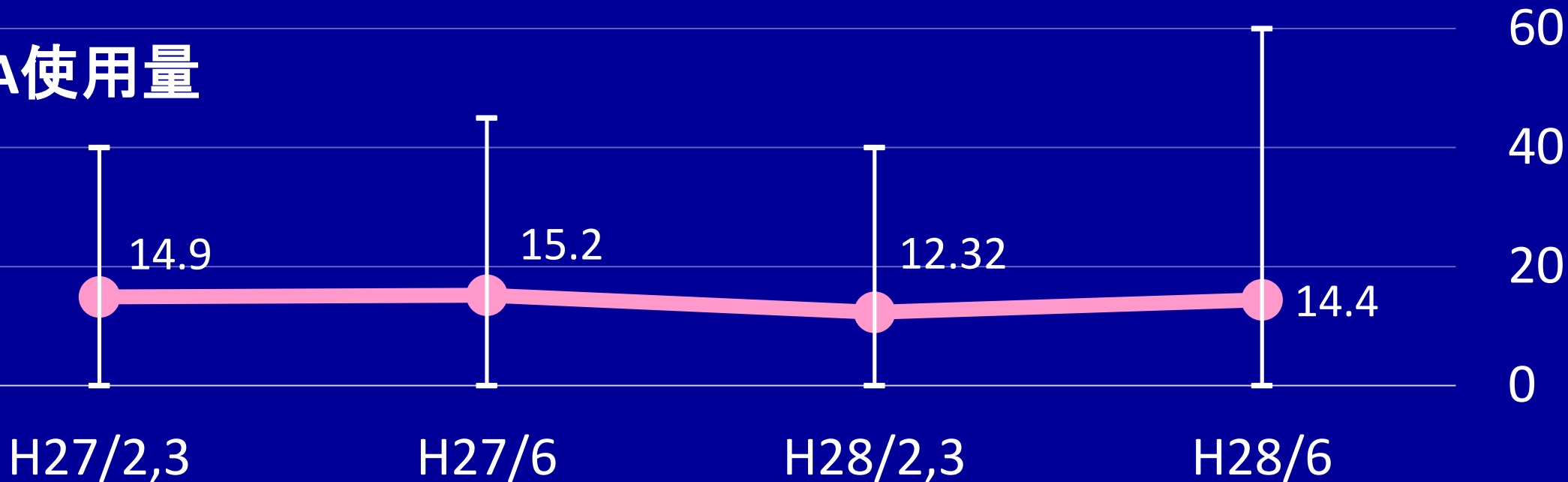
n=43

Hb



ESA使用量

( $\mu$ g/回)



# まとめ

- Alb、PはOHDF開始前より有意に上昇した。
- Hb、ESA使用量は有意な差はみとめられなかった。

# 考察

OHDFを開始することで懸念されていたAlbの低下はみられず、逆に低希釈量でもAlbの上昇がみられた。またPも上昇したことから栄養状態が改善されたと考えられる。

Hb、ESA使用量は今後も経過をみていく必要があり、また患者個々に対するより良い条件設定は今後の課題である。

# 第27回愛媛人工透析研究会 COI開示

筆頭演者名：向井 恵

私が発表する今回の演題について開示すべきCOIはありません

御静聴ありがとうございました。